

株式会社アイヴィジョンの グループ参画について



誰かのため 何かのため
そしてみんなのために

仕事をラクに。オモシロく。

- I. 本件の目的・概要
- II. アイヴィジョン社の概要
- III. 本件実施による相乗効果
- IV. 当社の今後の方針

1. 本件の目的・概要

本件の背景・目的

- SaaSサービスの拡大を目指す当社グループと、更なる販売力や信用力、開発・運営力等の強化を求めるアイヴィジョン社の意向が合致
- 両社の成長を前提に、当社によるアイヴィジョン社のグループ化（連結子会社化）が実現



- rakumo社のクライアント網、販売体制（販売パートナー含む）を活用したアイヴィジョン社製品の拡販
- rakumo社の提携先ノウハウの活用
- rakumo社の基盤を活用したマネジメント力、開発力、マーケティング力、信用力強化

- プラットフォームに依存しない4つのSaaSプロダクトの獲得によるクロスセルの実現
- アイヴィジョン社の顧客基盤活用によるrakumo製品の拡販
- 動画領域におけるノウハウの獲得・活用

本件の概要

- アイヴィジョン社の株式を7月1日に100%取得し、グループ化（完全子会社化）
- 当社連結決算においてアイヴィジョン社の業績を3Q以降に取り込む方向

ストラクチャー

- 取得持分：100%
- 株式取得価格：447百万円

スケジュール

- 本日：株式譲渡契約締結
- 7月1日：クロージング予定日
- 7月1日以降：アイヴィジョン社の損益
取り込み

II. アイヴィジョン社の概要

1. 会社概要

会社概要

「誰かのため 何かのため そしてみんなのために」をスローガンに、動画関連SaaSサービスとして、4つのプロダクトをサブスクリプション型リカーリングビジネスモデルにて提供

会社名	株式会社アイヴィジョン
設立	2003年7月
本社	東京都渋谷区恵比寿3-3-3
役員※	竹林 成樹 氏
事業内容	SaaSサービスとして、4つの動画関連プロダクトの販売・開発・運用業務 1. IR動画配信 SmartVision®IR 2. 会社説明・サービス説明等 SmartVision® 3. 企業向け映像eラーニング SmartVision®MEL 4. 採用向け動画配信 SmartVision®りくる
直近決算期	2022年6月期
直近財務	売上高：136百万円 営業利益：68百万円
クライアント数	130社以上（2022年6月末）（上場クライアントが中心）

※ 竹林氏は本件クロージングと同時にご退任される予定となります。また、同日rakumo社より複数名の役員を派遣する予定です。

沿革

- 2003年7月に創業し、2012年から2018年にかけて4つのプロダクトをローンチ
- ローンチ後、毎期堅調に上場企業を中心にクライアント数が増加
- 2022年には、SmartVision® IR に関する特許取得

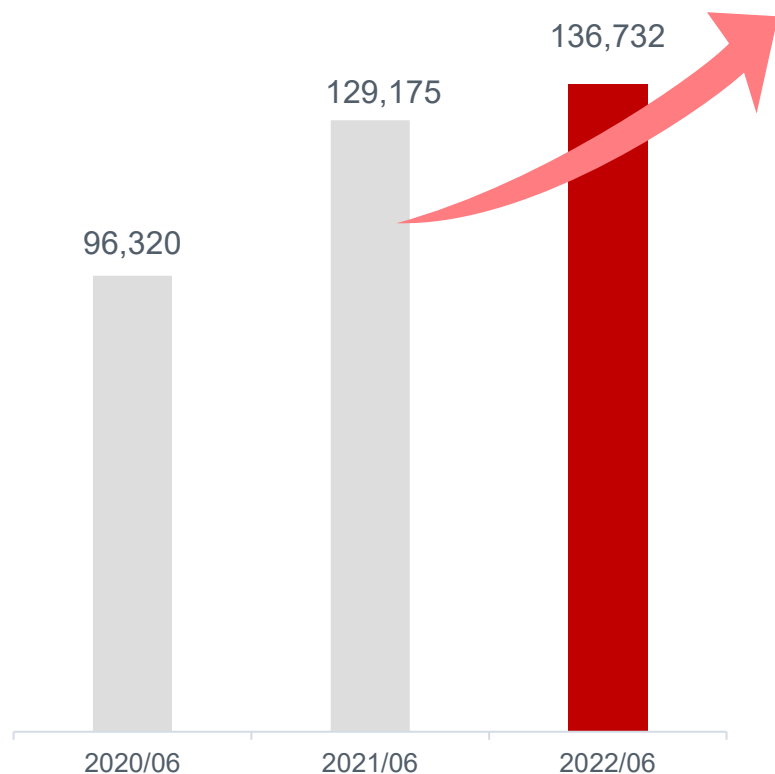
年	沿革
2003年	システム事業にて創業
2006年	メディア事業開始
2012年	SmartVision® リリース
2016年	SmartVision® IR リリース
2017年	SmartVision® りくる リリース
2018年	SmartVision® MEL リリース
2022年	SmartVision® IR に関する特許取得

売上高の推移及び営業損益の推移

- SaaSサービスが每期堅調に増加し、継続的な増収・増益を達成
- 今期（2023年6月期）も増収・増益を見込む

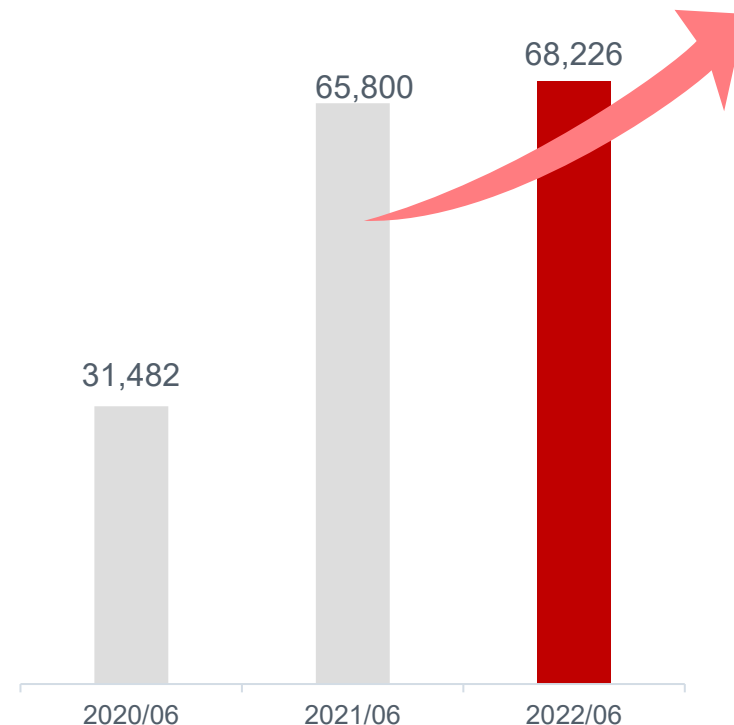
売上高

(千円)



営業利益

(千円)



II. アイヴィジョン社の概要

2. サービス・プロダクト全体の概要

サービス・プロダクト全体の概要 (1/2)

SaaSサービスとして、4つの動画関連プロダクトを提供し、各業務に係るクライアントの労働生産性を向上

1 SmartVision®IR

概要：IR動画システム

- IRご担当者様と視聴者の双方にメリットをもたらすIR動画システム
- 以下のような特徴を保持
 - 投資家にとって分かりやすいUI/UX
 - 投資家にとって見つけやすいダイレクトディスプレイシステム
 - 投資家にとってストレスのない視聴環境の提供
 - クライアント（経営企画等）にとっての労力削減かつコスト競争力の高いワンストップ対応
 - クライアント（経営企画等）にとって便利なカンタン配信

(システムイメージ)

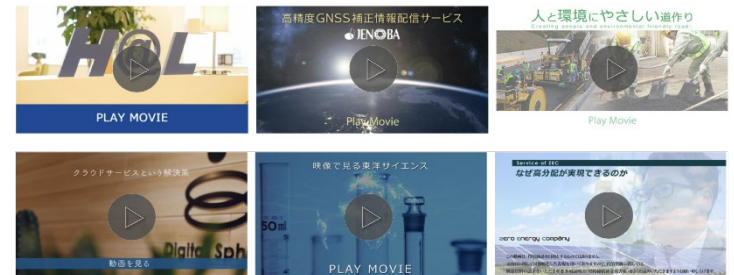


2 SmartVision®

概要：会社紹介・サービス紹介等動画システム

- 会社紹介やサービス紹介、採用のためのインタビューなど用途は様々。クライアントのニーズに合わせて企画を実施
- 今までの制作実績は約3,000本に到達
- 細かなメンテナンスニーズにも応え、情報が劣化しづらいコンテンツを提供

(システムイメージ)



サービス・プロダクト全体の概要 (2/2)

SaaSサービスとして、4つの動画関連プロダクトを提供し、各業務に係るクライアントの労働生産性を向上

3

MEL SmartVision

概要：動画マニュアルシステム

- 社会人に必要な教育、会社や商品ごとのマニュアル等をクライアント側で制作しMELにアップすることで動画で学ぶことが可能となるシステム環境を提供
- 手が回らずマニュアルや資料を渡すだけになりうまく伝わらないという問題を解消し、新人も熟練社員も知りたいときにいつでもどこでも動画で学ぶことが可能
- 長時間労働の削減にも貢献

(システムイメージ)



4

SmartVision® りくる

概要：WEB会社説明会システム

- これまで、説明会会場に学生を集めて行っていた新卒会社説明会をWEB会社説明会として実施可能なシステム環境を提供
- 学生にとっても会場までの交通費や日程の調整も不要となり、県外や海外問わず、いつでも会社説明会に参加が可能
- 企業側が設定するアンケートやエントリーシートの提出までがシステムにより可能

(システムイメージ)



II. アイヴィジョン社の概要

3. 主要サービスのSmartVision®IRの特徴

1 投資家にとって 分かりやすいUI/UX

- 分かりやすいUI/UXにより投資家ファーストな仕様を提供

動画の発見性を向上
ダイレクトディスプレイ

見たい所をダイレクトに再生
チャプター機能

説明資料や短信などダウンロード可能
資料ダウンロードボタン

新しいIRのカタチ
SmartVision® IR Online Presentation

TEXT

文字で確認したい投資家に
テキストボタン

聞き逃した時などに便利な
10秒戻し・10秒進むボタン

忙しい投資家に
1.5倍・2倍速ボタン

過去映像にもダイレクトアクセス
Libraryボタン

SmartVision® IR

資料ダウンロード

01 これからのIRのカタチ
SmartVision® IR >

02 会社概要 >

03 IR映像の有効活用 >

04 アクセス数比較 >

05 ダイレクトディスプレイの効果 >

Library

SmartVision® IR
特許登録済

2 投資家にとって 見つけやすいダイレクトディスプレイシステム

- 自社サイトにリッチコンテンツシステムであるSmartVision®IRを直接設置することにより、投資家に見つけやすさを提供

※左下のようにリンクで動画を掲載している場合、決算説明会映像へと遷移させる必要があり、かつ、資料など他の情報と並列に並んでいるケースが多く、HPを訪れた投資家が映像を見つけられないことによる機会損失が発生

The screenshot shows the SVIR investor relations page. The navigation bar includes 'TOP', '企業情報', '投資家の皆さまへ', 'ニュースリリース', 'CSR', and '採用情報'. The main content area is titled '投資家の皆さまへ' and 'Investor Relations'. Under the 'IRニュース' section, there is a list of news items. The last item, dated 2021.3.30, is titled '平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算説明会 (動画)' and is marked as a 'リンク型' (link type) with a red box. Below this list are two boxes for '経営方針' and '財務・業績情報', each with a 'すべて表示' (show all) button.

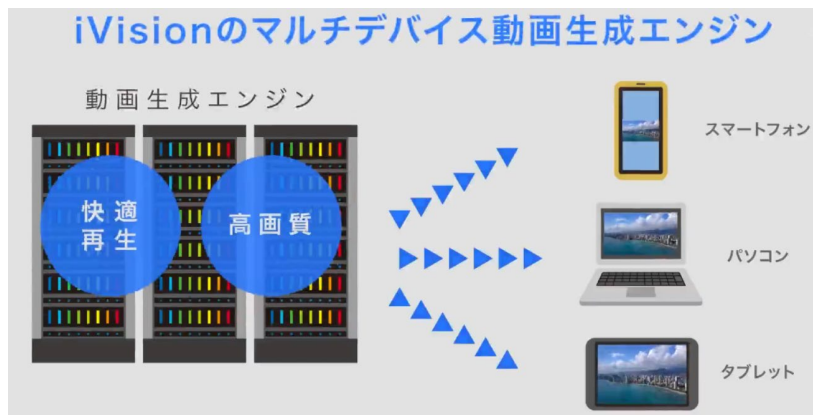
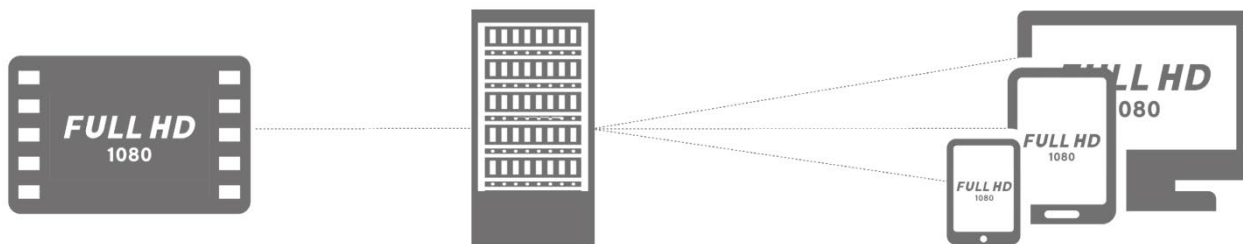


The screenshot shows the SVIR investor relations page with the 'SmartVision IR' video player. The navigation bar is the same as in the left screenshot. The main content area is titled '投資家の皆さまへ' and 'Investor Relations'. The 'SmartVision IR' section features a video player with a play button and a title '新しいIRのカタチ SmartVision IR Online Presentation'. To the right of the video player is a table of contents for the presentation, with items 01 through 06. Below the video player is a 'TEXT' button and a set of playback controls. The 'IRニュース' section is visible at the bottom, showing the same list of news items as in the left screenshot.

3 投資家にとって ストレスのない視聴環境の提供

- 自社開発のマルチデバイス動画生成エンジン”Movie Optimization”で様々なデバイスから快適に視聴可能
- 大多数を占めるスマホユーザーにも快適に視聴可能な独自の特許技術とUI/UXを提供
- フルハイビジョンの高画質映像を、従来の80%削減の軽さで視聴可能

自社開発のマルチデバイス動画生成エンジン



1 クライアント（経営企画等）にとって 労力削減かつコスト競争力の高いワンストップ対応

- 翻訳から映像配信までワンストップとなるため、クライアント（経営企画等）にとって一般的な英語版制作フローに費やす労力（翻訳業者・ナレーション会社・収録スタジオ・映像制作会社、等々、それぞれとのやり取り）を削減可能
- アイヴィジョンにおいては、ネイティブスタッフの正社員から収録スタジオ、映像編集まで全て内製化することにより、間接コスト（マージン）の削減が可能となり、クライアント（経営企画等）にとって高いコスト競争力を提供



2 クライアント（経営企画等）にとって 便利なカンタン配信

- 配信までの煩雑な作業なし（公開まで3ステップ）
- 専門知識が無くても、簡単に配信設定が可能

プレイヤー設定

レスポンス : ON

再生マーク表示 : ON

プレイヤー横幅 : 500 px

初期音量 : 5 (10~10)

タイトルの色 : #3b3636

メニューの色 : #ff6a00

Now Playingの色 : #faaf23

プレイヤータグ : `<div id="7798f0aa" class="smartvision-root"><script type="text/javascript" src="/svss.tv/player/chapter/js/set.js"></script></div>`

プレビュー

変更を保存 >

コンテンツ設定

+	ID	タイトル	ビデオID
+	01	2021年度5月期	bd170e03
+	02	2020年度5月期 2Q	

変更を保存 >

※クリックしない限り変更は反映されません



- ☑ タグ1つの挿入で、即配信
- ☑ チャプター分割もリアルタイム反映
- ☑ テキスト変更もその場で即編集
- ☑ DL 資料もプレーヤー内で簡単アップロード
- ☑ プレーヤー色を自由にカスタム可能

「公開」ボタンを押すだけで映像公開が可能

(ご参考) お客様情報

お客様一例

- 日本マクドナルドホールディングス 様
<https://www.mcd-holdings.co.jp/ir/>
- セブン&アイ・ホールディングス 様
<https://www.7andi.com/ir/library/ks/202302.html>
- みずほフィナンシャルグループ 様
<https://www.mizuho-fg.co.jp/investors/ir/briefing/index.html>
- エステー 様
<https://www.st-c.co.jp/ir/>
- アース製薬 様
<https://corp.earth.jp/jp/ir/>
- サンリオ 様
<https://corporate.sanrio.co.jp/ir/>
- カカクコム 様
<https://corporate.kakaku.com/ir>
- 三井住友トラスト・ホールディングス 様
https://www.smth.jp/investors/individual/individual_meeting

お客様の声の抜粋

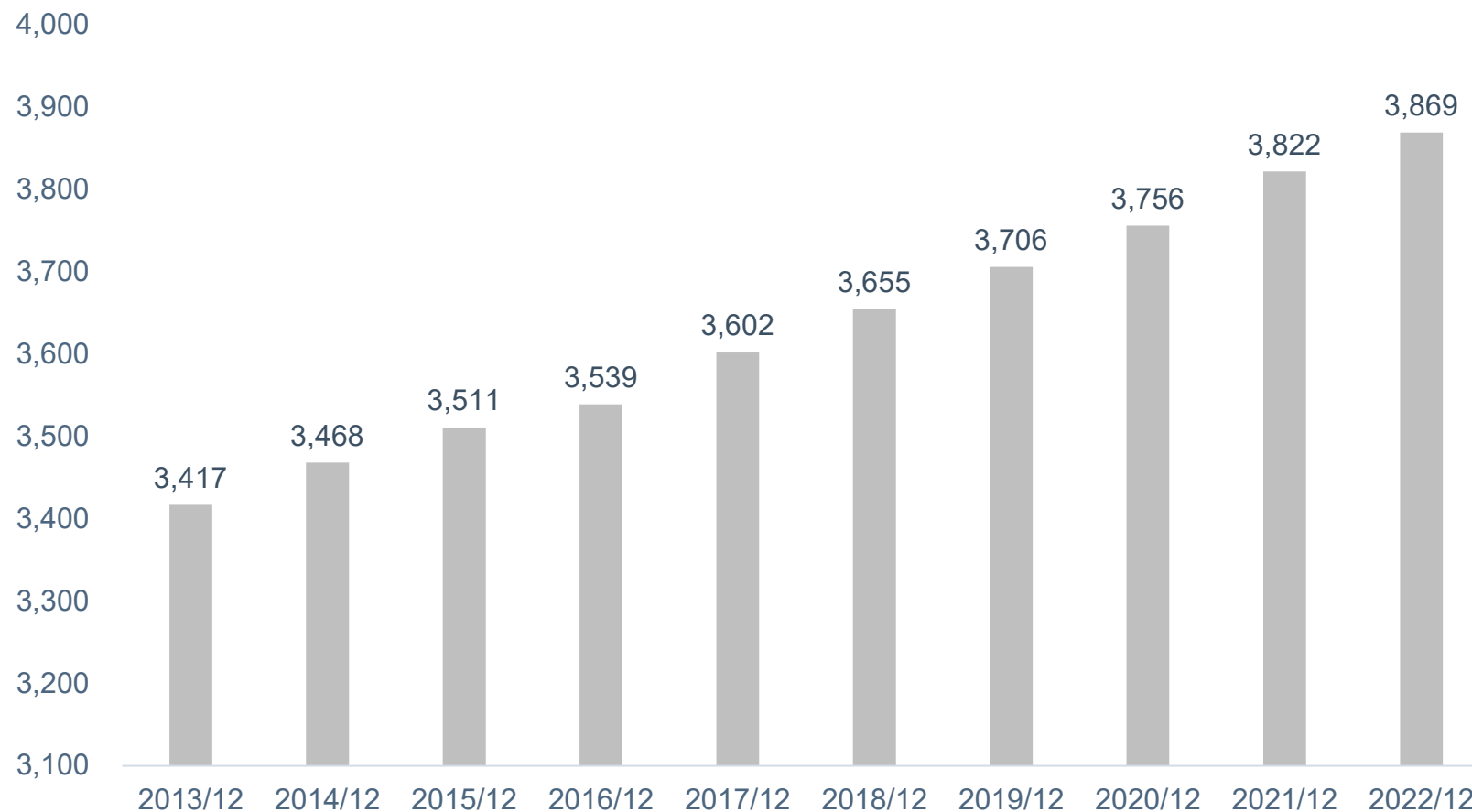
<https://ivision.ne.jp/ir/customer/>

- 大株主や機関投資家からも大好評（海外機関投資家から「わかりやすくなった」、「英語ナレーションが聞きやすくなった」という声があった）
- 事前に映像を機関投資家が見てくれているので、1on1 MTGの質が向上した
- サービスの内容・質ともに満足
- 対応の迅速さに満足
- ダイレクトディスプレイは効果があると思っていたが実際に使ってみてよかった
- 最初は大変かと思ったが簡単に使え投資家のアクセスも全然違い変更してよかった
- 以前使用していた映像ではあまり効果を感じなかったが投資家からの反響も多く、映像効果を感じている
- 映像が綺麗で、HPに直接設置できるので、わかりやすくなっただけでなく、HPのコンテンツ強化にも繋がりがり、IRサイトランキングでも評価された
- スマホで資料が見られるようになった点が良かった
- チャプター機能やスマホでの使いやすさなどユーザビリティが向上した

(ご参考) 上場企業社数推移

- 国内の上場企業社数は毎年増加しており、SmartVision®IRが提供可能な市場規模は拡大中

(社)



II. アイヴィジョン社の概要

4. 特徴・強みのサマリー

アイヴィジョン社の特徴・強みのサマリー

- 1 動画領域でのビジネスノウハウ（例：属人性を排除したセミオートメーションシステムの確立）
- 2 魅力的な自社保有プロダクト及び当該プロダクトの成長ポテンシャル
- 3 上場会社との関係や販売網
- 4 安定的な利益創出力を含む強固な財務体制
- 5 安定性と成長性を両立させる継続収益モデル（サブスクリプション型リカーリングレベニューモデル※）の確立（低解約率含む）

※「サブスクリプション型リカーリングレベニューモデル」：サービス料金を使用期間やユーザー数等に応じて定期定額契約（サブスクリプション）として課金することで、継続的な収益（リカーリングレベニュー）を得るビジネスモデルを言います。

III. 本件実施による相乗効果

相乗効果サマリー

1 両社の各種基盤の活用

- i. 両社の知見を活用した営業戦略立案・実行
- ii. rakumo社のマネジメント力の活用
- iii. rakumoベトナム社も含めた開発力の活用
- iv. rakumo社のマーケティング力の活用
- v. アイヴィジョン社の動画領域におけるノウハウの獲得・活用、等

2 rakumo社の提携先との拡販戦略立案・実行

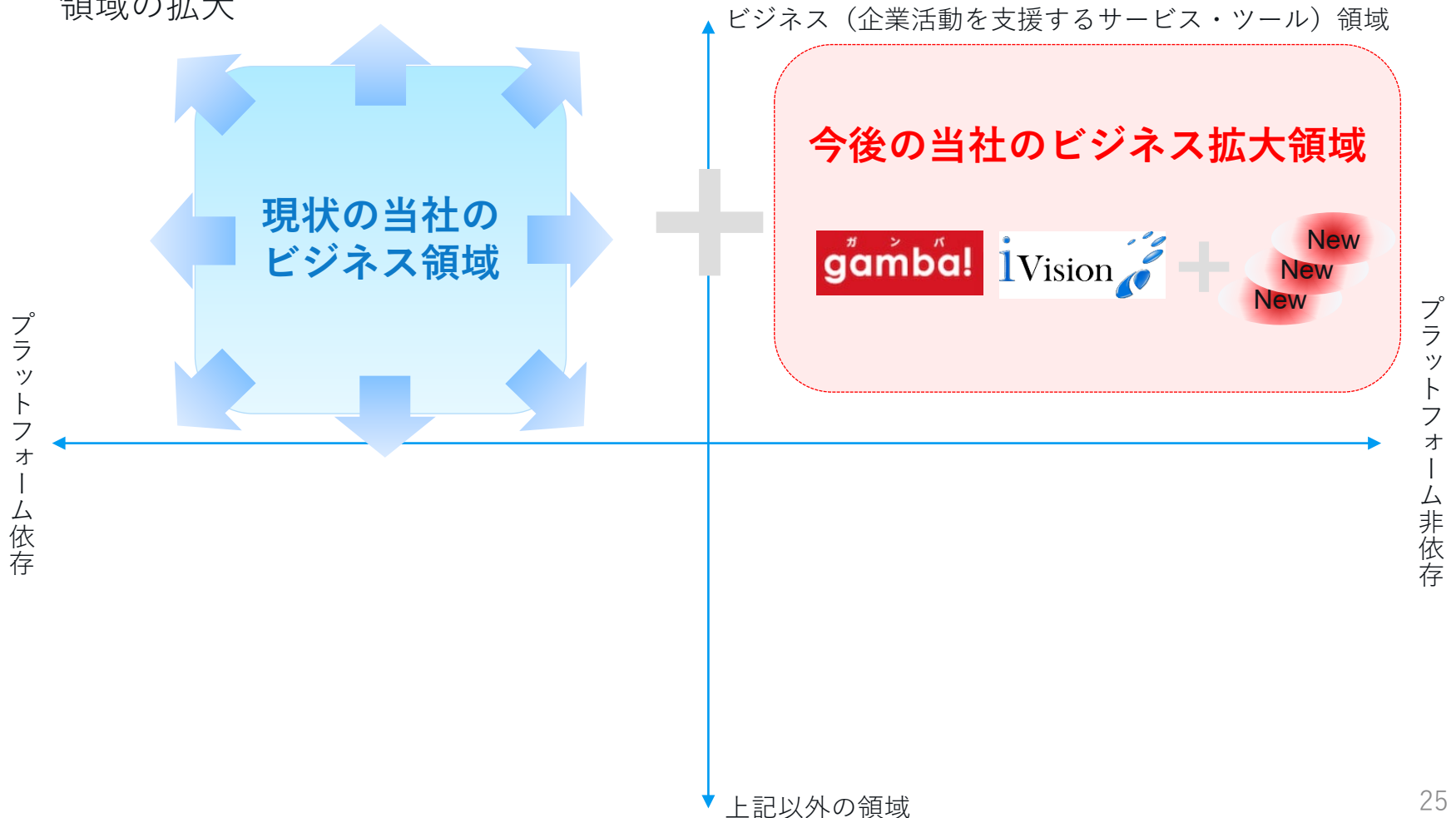
3 rakumo社のクライアント網、販売体制（販売パートナー含む）等を活用したアイヴィジョン社製品の拡販

4 アイヴィジョン社のクライアント網を活用したrakumo社製品の拡販

IV.当社グループの今後の方針

当社グループの今後の方針：サービス展開方針

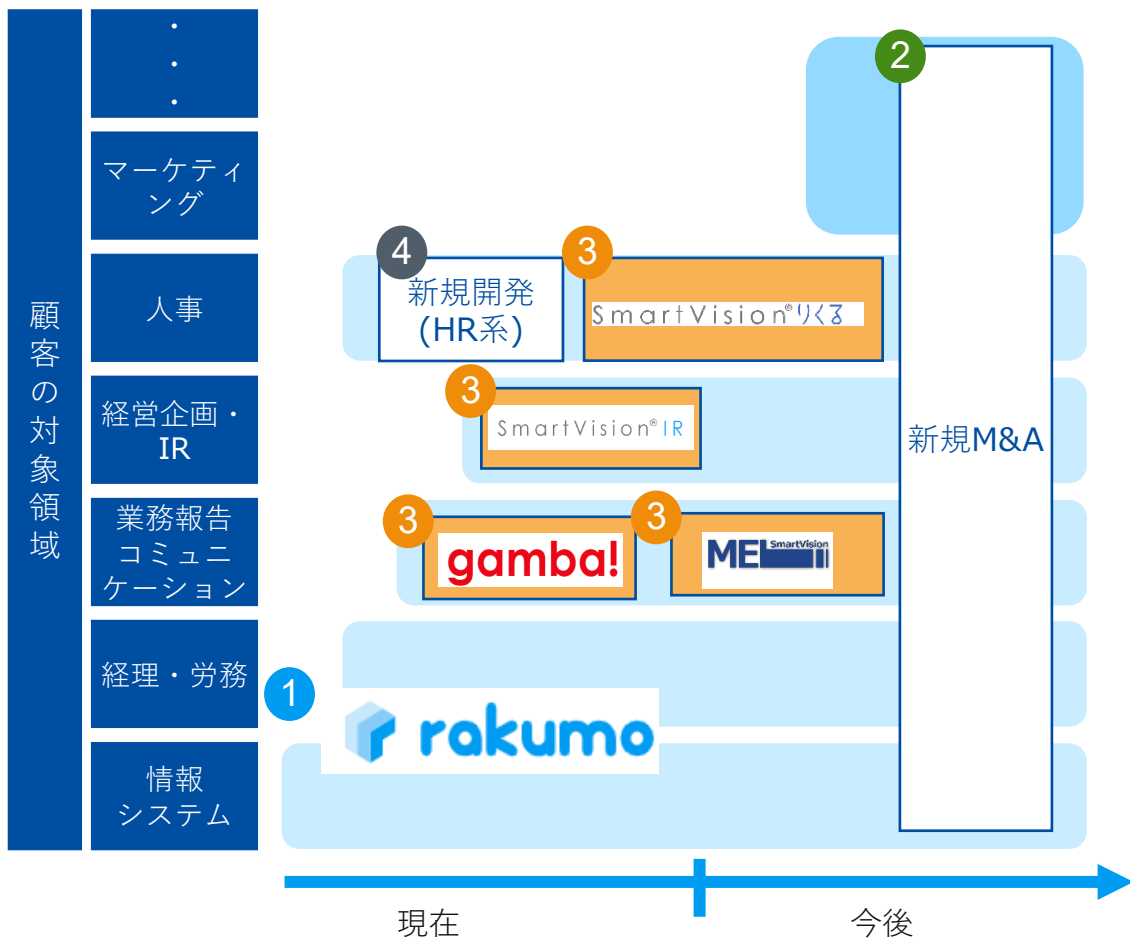
- 今後の新サービス開発及び投融資等を通じて、Google Workspace、salesforceプラットフォーム上の強化
- プラットフォーム非依存のビジネスSaaS（企業活動を支援するサービス・ツール）領域の拡大



当社グループの今後の方針：当社グループの目指す事業戦略

事業戦略の全体像

- サービス提供領域
 - サービス未提供領域
 - M&Aによって獲得
- ・企業活動を支援するサービス・ツールを様々な部門に提供し、複数のストック型事業を有する企業を目指す
- ・新規開発 + M&Aを軸にサービスラインを拡充する方針

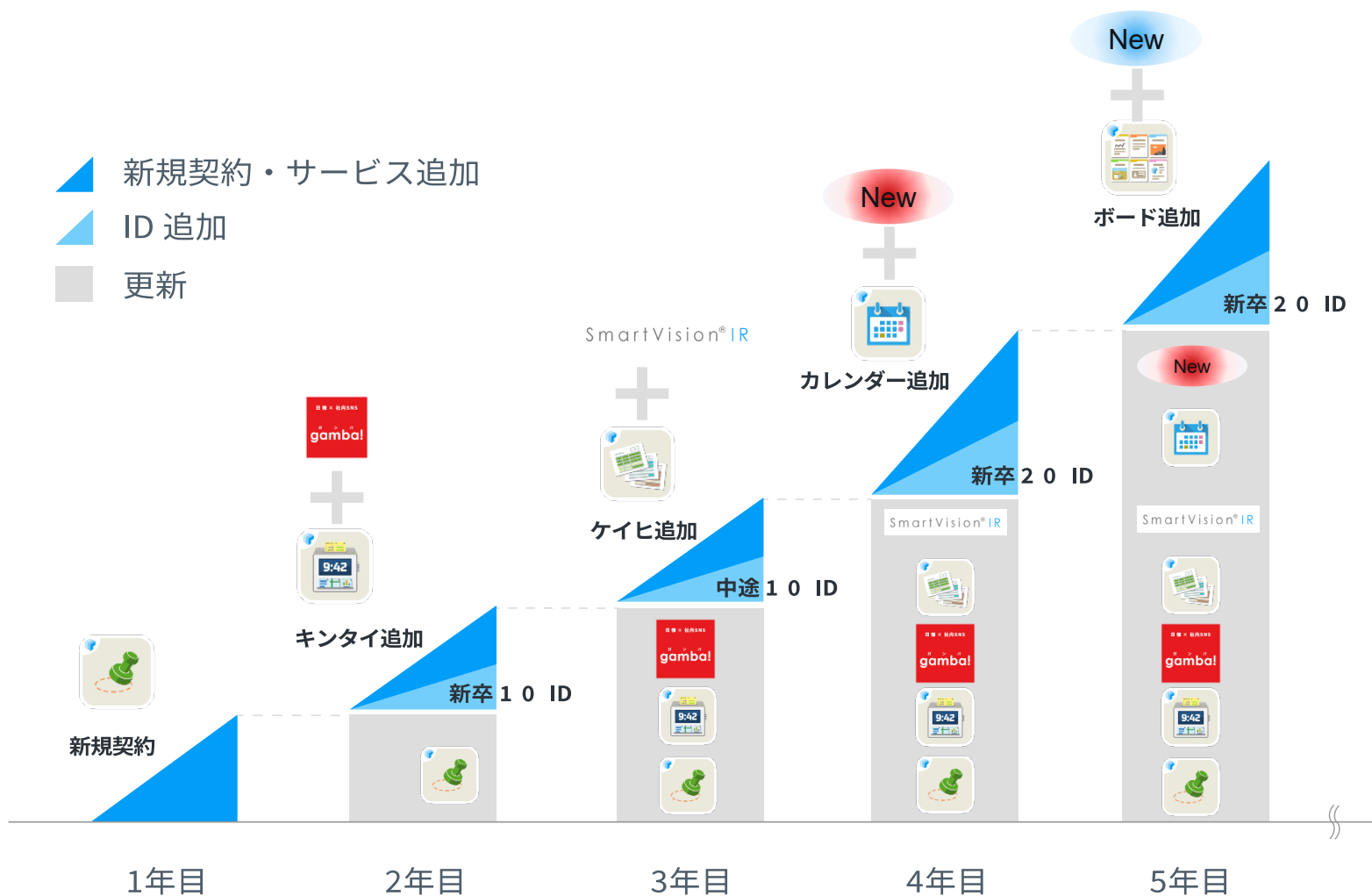


事業戦略の実現に向けた活動

- 1 既存事業の成長加速
 - 新規顧客の獲得の加速
 - 既存顧客に対する追加サービスの拡販
 - 解約防止に向けた顧客体験の向上
- 2 新規M&A加速によるサービスライン拡大
 - M&A候補先の検索機能の強化
 - M&A候補先の検討プロセスの強化
- 3 M&A先のPMI高度化によるシナジー最大化
 - gamba社、アイヴィジョン社のPMI推進・成長加速
 - 新規M&Aを見据えたPMI機能の高度化
- 4 新規サービス開発によるサービスライン拡大
 - 顧客ニーズ調査、市場調査の高度化
 - サービス開発プロセスの高速化・高度化

(ご参考) 1社 (クライアント) 当たりの単価増加イメージ

- ・クライアントの成長に伴い追加ID受注を獲得
- ・当社の特徴である広範囲な製品群により、サービス追加 (例: ワークフローを導入していたクライアントがキンタイを導入する等) が生じ、1社当たり単価増に貢献
- ・更に、追加新規プロダクトにより、1社あたりの単価増を企図



ディスクレーマー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。